

補助金制度の概要と 活用のご案内

| 建設業における中長期的な成長の選択肢として

建設業界を取り巻く環境の変化

現在、建設業界では労働時間の制限や資材価格の変動など、経営環境が大きく変化しています。

これらの変化を乗り越えるため、国は複数の支援策を用意しています。



生産性の向上：
省力化設備による効率化



人材の確保：
採用力の強化と処遇改善



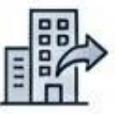
事業の持続性：
デジタル化による
管理体制の整備



検討の視点

「補助金をもらうこと」を目的とするのではなく、貴社の5年後、10年後のビジョンを実現するために、どの制度がパズルのピースとして最適かをご検討ください。

主要な補助金の比較一覧

補助金名	対象者・目的	主な補助対象経費	補助率・上限額	申請時期・備考
 IT導入補助金	建設業のデジタル化、業務効率化	ソフトウェア、ハードウェア、導入関連費	最大450万円 (枠による) 1/2~3/4	通年公募 (複数回締切あり)
 ものづくり補助金	革新的な製品・サービス開発、生産性向上	機械装置、システム構築費、試作開発費	最大1000万円 (通常枠) 1/2~2/3	年複数回公募
 事業再構築補助金	新分野展開、業態転換、事業再編	建物費、機械装置、システム構築費、広告宣伝費	最大1億円 (枠による) 1/3~2/3	年複数回公募
 小規模事業者持続化補助金	販路開拓、生産性向上、業務効率化	ウェブサイト制作、広告費、店舗改装費	最大200万円 (枠による) 2/3~3/4	通年公募 (複数回締切あり)

※内容は変更される可能性があります。最新の情報は各補助金の公式サイトをご確認ください。

第19回 持続化補助金の構成

補助額の構成（最大250万円）



① 特別枠：200万円

（賃金引上げ、卒業、後継者支援、創業）



② インボイス特例：+50万円

（免税事業者からの転換等）



合計：最大 **250万円**

建設業での主な活用例



採用サイト構築
若手人材確保のためのPR



車両ラッピング
移動広告による認知度向上



施工管理ソフト
現場報告のデジタル化



タブレット導入
現場での図面確認・効率化

⚙️ 大規模・省力化投資への選択肢

「今の現場をどう変えたいか」に合わせて、最適な枠組みをご提案します。



ものづくり補助金

革新的なサービスや製品開発を支援する制度です。ICT建機やドローン測量など、数千万円規模のDX投資を検討される場合に有効です。



ICT建機



ドローン測量



省力化投資補助金

国が選定したカタログ製品から選ぶ、シンプルかつ即効性の高い制度です。現場の単純作業を機械に置き換えることが可能です。



カタログ製品



単純作業の
機械化

未来の現場を見据えた、最適な投資戦略を。

■ ご検討の目安となるスケジュール

持続化補助金（第19回）を一つの基準とした場合の日程です。

～3月中旬



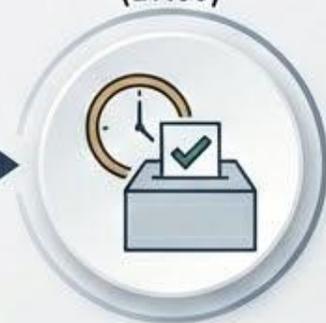
投資内容の検討
GbizIDの準備

4月16日(木)



商工会等への
書類発行依頼締切

4月30日(木)
(17:00)



申請受付締切

! ※補助事業は採択後の「交付決定」を受けてからの発注が原則です。

まずは、情報整理から始めませんか？

どの補助金が見えるか、あるいは申請すべきか。貴社の現在の状況と今後の計画を伺い、最適な「組み合わせ」を客観的に診断いたします。



🕒 簡易診断（約15分）を承っております。

※無理な勧誘はいたしません。貴社の判断材料の一つとしてご活用ください。